

各種調査の実施について

展示更新計画の検討にあたり、実施する各種調査の概要を以下に示す。

展示更新に関しては、更新する展示を検討する「1 既存展示調査」と、収集資料の活用を検討する「2 収蔵品調査」を実施し、天体観察機能に関しては基礎調査として「3 県内の天文関連施設調査」を実施する。

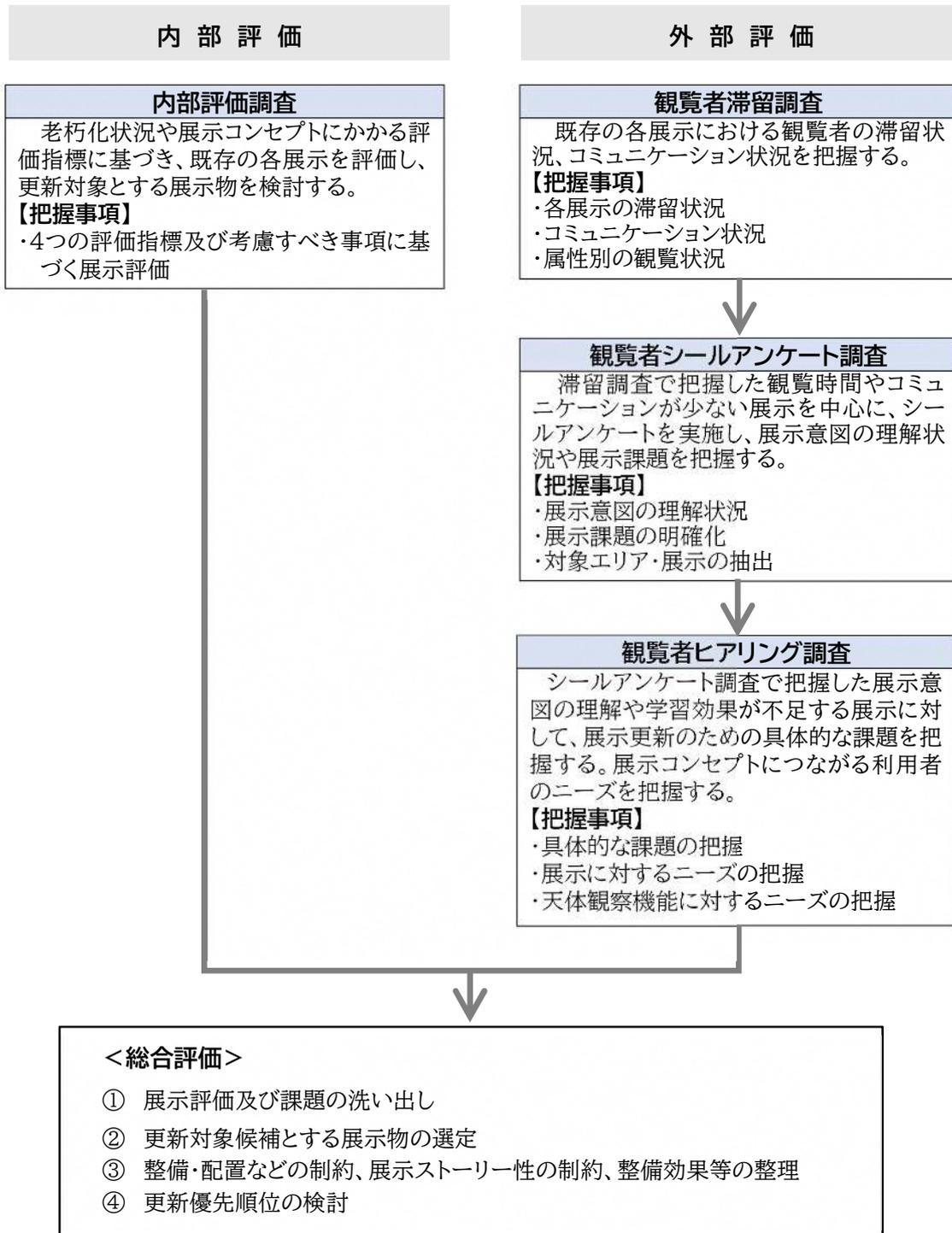
「4 類似館調査」及び「5 関係団体へのニーズ調査」は、展示、天体観察機能の両方について参考となる事例や意見を調査する。

各種調査の概要

1 既存展示調査	P.2
<p>更新対象とする展示物を検討するため、当館職員等で行う「内部評価」と、観覧者による「外部評価」の2つ視点で実施する。展示評価や課題の洗い出しを行った上で、制約条件や整備効果等を整理し、更新優先順位の検討を行う。</p> <p>【実施調査】</p> <p><内部評価> 内部評価調査</p> <p><外部評価> ①観覧者滞留調査／②観覧者シールアンケート調査／③観覧者ヒアリング調査</p>	
2 収蔵品調査	P.13
<p>新展示案の検討に活かすため、幅広く収集した資料について、あらためて常設展示での活用可能性を調査するとともに、収蔵品の活用事例や活用ニーズについて把握する。</p> <p>【実施調査】</p> <p>①活用可能性調査／②類似館事例調査／③ニーズ調査</p>	
3 県内の天文関連施設調査	P.14
<p>天体観察機能のあり方を検討する基礎資料とするため、天文に関連する県内の4つの施設を対象として、連携の可能性についてヒアリング調査を実施する。</p> <p>【調査対象】</p> <p>①天湖森／②富山市子どもの村／③国立立山青少年自然の家／④黒部市吉田科学館</p>	
4 類似館調査	P.15
<p>展示更新計画の参考とするため、当館と類似する博物館及び科学館を対象に、展示更新の事例、天文分野の事業等について調査を実施する。</p> <p>【調査対象】</p> <p>・近年展示更新済(更新中)、プラネタリウムや天体望遠鏡がある館 20施設程度</p>	
5 関係団体へのニーズ調査	P.24
<p>展示更新計画の参考とするため、富山県内の関係団体を対象に、利用目的や満足度、科学博物館に求めるものなどを把握するニーズ調査を実施する。</p> <p>【調査対象】</p> <p>・関係団体 50 団体程度</p>	

1 既存展示調査

既存展示調査は、当館職員等で行う「内部評価」と、観覧者による「外部評価」の2つ視点で実施する。調査概要及び調査の流れは以下の通りである。



(1) 内部評価

内部評価に関する調査として「展示評価調査」を下記の通り実施する。

評価者は①当館職員、②調査コンサルタントの2者とし、実際の展示を確認しながら、4つの評価指標によりチェックし評価を実施する。

内部評価調査

項目	内容
対象	・1階、2階の展示コーナー 64 か所
方式	・現地確認によるチェックシート記入式
評価者	① 当館学芸員 ② 調査コンサルタント
調査方法	① 展示コーナー64 か所に対して、4つの評価指標について A～C の 3 段階で評価し、チェックシートに記入する。 ② 考慮すべき事項として、学芸員からみた観覧者の様子、展示解説の活用程度等を記入する。 ③ 4つの評価指標に基づく評価結果と、考慮すべき事項に基づき、内部評価を行う。

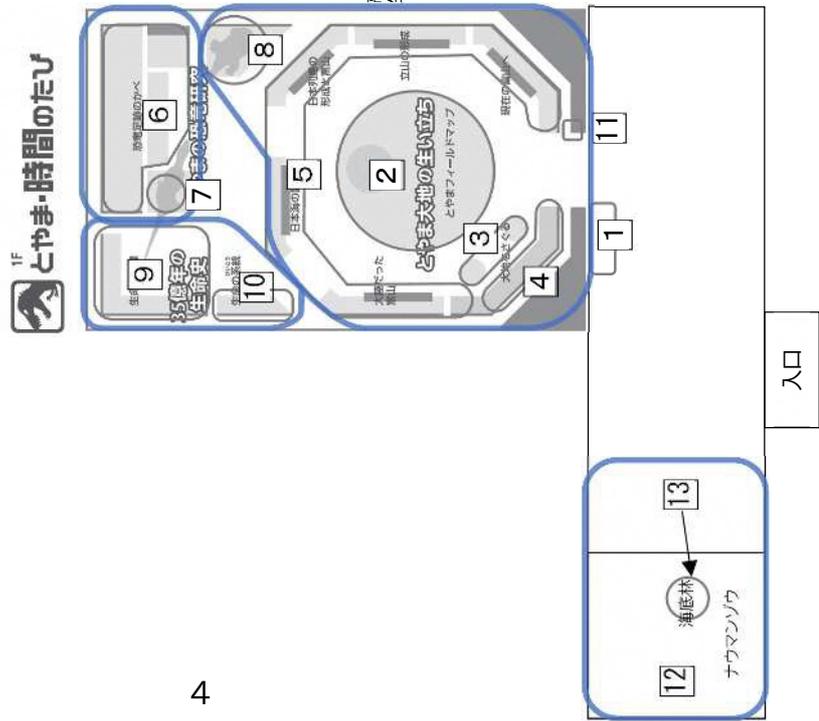
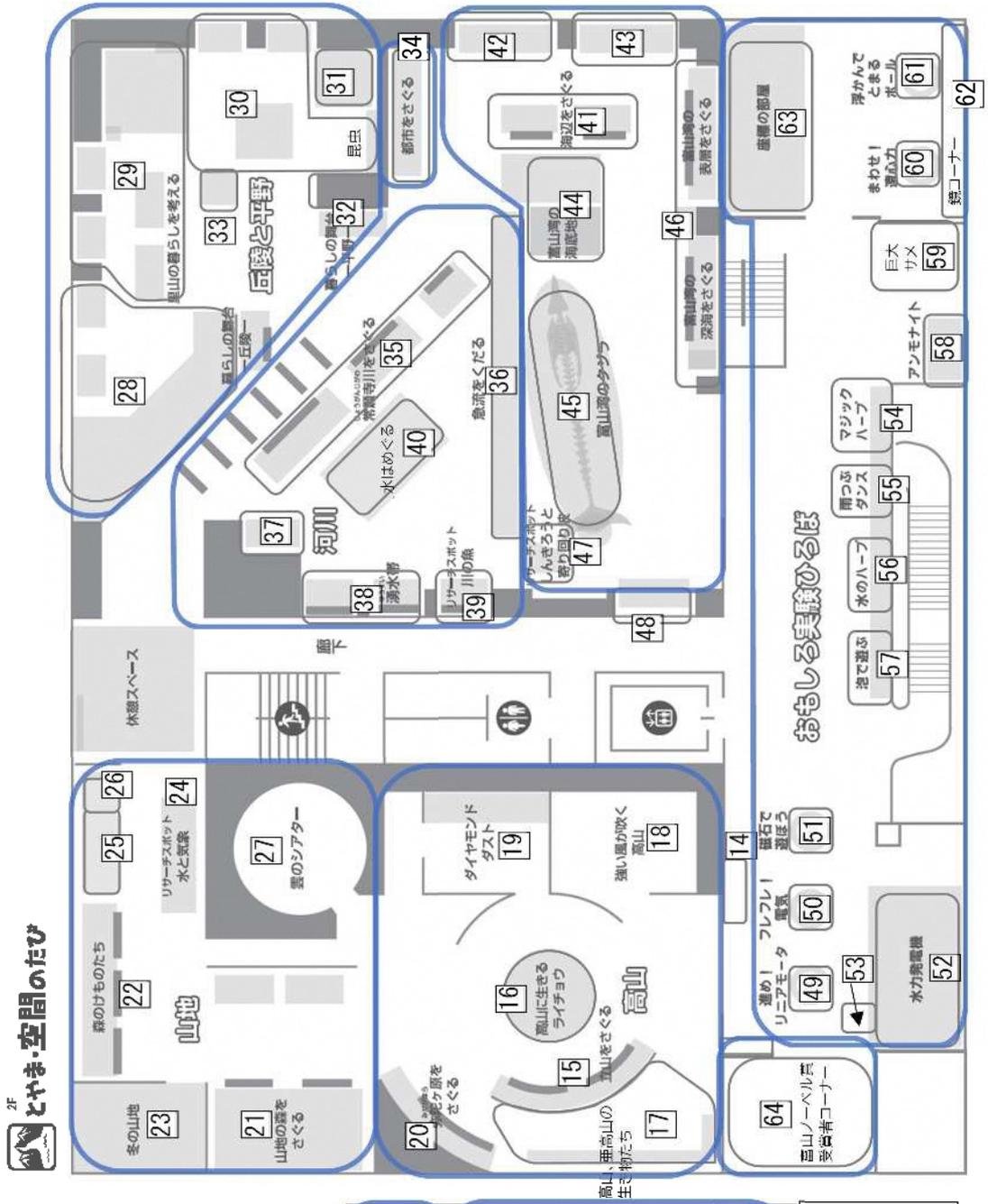
評価指標

評価指標	A	B	C
① 老朽化の度合(色褪せなど)	老朽化して いない	←————→	老朽化して いる
② メンテナンス頻度	頻度低い	←————→	頻度高い
③ 展示内容が古い、誤りがある、新知見をいれなければいけない	現状の内容で よい	←————→	古い、誤りが ある、新知見 必要
④ エリアの展示意図を伝えるための重要度	大きい	←————→	小さい

内部評価調査 対象展示平面図

凡例

- 1 ~ 64 展示コーナー番号
- 展示コーナー区分
- エリア



大項目	展示 番号	中項目	小項目	主な展示物	①老朽化	②メンテ ナンス	③古い、 誤り、新 知見	④エリア 展示意図	考慮すべき事項	内部 評価	
	1	とやま時間のたび プロローグ									
とやま大地の 生い立ち	2	大地をさぐる	とやまフィールドマップ	衛星写真（床面グラフィック） 地質図（テーブル展示）							
	3	岩石を見てみよう		常願寺川の石							
				常願寺川の石（名前/偏光ルーペ）							
	4	地層を見てみよう		岩石からわかること（薄片）							
				地層のひみつ 地層パズル							
	5	大陸だった富山	大陸のかけら	飛騨片麻岩、十字石片岩、朝鮮半島 産出の岩石と富山産出の岩石							
				付加体の形成と日本列島	ヒスイ輝石岩、青海石灰岩						
				富山に恐竜がいた頃	アンモナイト、シダ類、ポドザミテ ス、クビナガリュウの歯化石						
		日本海の誕生	日本海の誕生	月長石流紋岩、グリーンタフ							
				富山が亜熱帯だった時代	ビカリア、デスモスチルス						
		日本列島の形成と富山	1600～1500万年前	ハブラトツノガイ、イトイガワウキ ビシ							
				1500～500万年前	貝化石密集層（音川層）						
				500～80万年前	ムカシブンブク、ビノスガイ						
		立山の形成	立山の隆起	黒部川花崗岩、滝谷花崗岩							
				立山火山	材木石、溶結凝灰岩、火山弾、硫黄 溶岩						
	立山の氷河地形			パネルのみ							
	現在の富山へ	平野の形成（扇状地と低地）	ボーリングコア、ナウマンゾウ骨片								
丘陵の形成（断層活動）			呉羽山産植物化石、貝化石								
縄文海進			硯ヶ森貝塚の貝								
とやま 恐竜 研究	6	恐竜足跡のかべ	足跡化石の種類	アンキロサウルス足跡化石、獣脚類 歯化石							
		は虫類の分類	コンブソグナトス骨格標本								
	7	ティラノサウルス		ティラノサウルス動刻模型							
8	デスモスチルス		デスモスチルス生体復元模型、歯化 石								
3 5 生億 命年 史の	9	生命の記録		クックソニア復元模型、恐竜歯化 石、ウミユリ化石、アロサウルス骨 格模型、アンモナイトの秘密、砂粒 の秘密							
	10	生命の系統		シーラカンス、ネアンデルタール人							
	11	エピローグ									
	12	ナウマンゾウ		ナウマンゾウ骨格模型、生体模型、 歯化石							
	13	入善沖海底林		材化石							

大項目	展示番号	中項目	小項目	主な展示物	①老朽化	②メンテナ ナンス	③古い、 誤り、新 知見	④エリア 展示意図	考慮すべき事項	内部 評価
	14	とやま空間のたび プロローグ								
高山	15	立山をさぐる	高山の景観、環境	昆虫、ハイマツ、玉滴石、硫黄						
	16	高山に生きるライチョウ		ジオラマ、ライチョウ、イヌワシ、オコ ジョ剥製						
	17	高山、亜高山の生き物たち		昆虫、コケ、樹脂封入、植物スキャノグラ ファイ						
	18	強い風が吹く高山		強風体験装置						
	19	ダイヤモンドダスト		ダイヤモンドダスト発生装置						
	20	弥陀ヶ原をさぐる		泥炭ジオラマ、オオシラビソ						
山地	21	山地の森をさぐる		スギ切り株、ツキノワグマのフン、ユキツ バキ、土壤動物、ミズナラ						
	22	山地の動物たち		ツキノワグマ、ニホンザル、ニホンカモシ カ、ブナ						
	23	冬の山地		雪崩を見てみよう、雪の重さを比べてみよ う、動植物の冬越し						
	24	リサーチスポット 水と気象		科学博物館屋上気象観測所、富山の気象						
	25	山地の生き物たち		鳥剥製、鳴き声選択、キノコ、模型、植物 スキャノグラフィ						
	26	リサーチスポット 雪と生きもの		クロサンショウウオ、クロイワマイマイ、 ツクバネソウ						
27	雲のシアター		台風の解説番組、霧で台風演出							
丘陵と 平野	28	雑木林	雑木林はたくさんの生き物たちを育 む	ノウサギ、イタチ、テン等剥製、鳥剥製、 昆虫標本、コナラ立木、コケ樹脂封入、植 物スキャノグラフィ						
			スギ、カラスザンショウ、アカマツ、リョ ウブ、コナラ							
			林を支えるきのこ	ジオラマ						
		アズマヒキガエルの産卵	ジオラマ							
	29	里山の暮らしを考える	いろいろの間	いろいろ、自在鉤、ボンボン時計						
			トミ子おばあちゃんの思い出話	モニター、音声での昔の情景（会話）						
			山から木を切り薪や炭にした	薪と炭の重さ比べ（体験）						
			山の動物の利用	ツキノワグマ、カモシカ毛皮等						
			山仕事は欠かせない	ナタ、ノコギリ						
			自然の素材を様々な用途に利用した	竹や木の道具、杉鉄砲等のおもちゃ、カイ コ						
	30	田んぼ	家は自然素材で作られた	竹や木の道具						
			家のまわりから食べ物を得た	ジオラマ						
			稲刈りが済んで	ジオラマ						
			足踏み式回転脱穀機	脱穀機、わらの手触り体験						
イネが生み出す便利な素材			わら、ばんどり、袋							
	手間をかけてコメを育てた	パネル								
	田んぼとともに生きている	昆虫標本類								
31	照葉樹		スタジイ							
32	屋敷林		屋敷林模型							
33	川、井戸	小川の変化と生き物	ドブガイ、水草他							
		近くの川や井戸から水を得ていた	つるべ井戸							

大項目	展示番号	中項目	小項目	主な展示物	①老朽化	②メンテナン	③古い、誤り、新知見	④エリア展示意図	考慮すべき事項	内部評価	
都市	34	都市	都市環境と適応している生き物	カラスの巣、タンポポ、ネズミ、コウモリ							
河川	35	常願寺川をさぐる	上流	カゲロウ、カワゲラ、カワガラス等							
			中流	イワナ、ヤマメ、カワラナデシコ等							
			下流	モクズガニ、ドブガイ、クサガメ等							
	36	富山を一気にくだる		常願寺川と同じ勾配のスロープ							
	37	水で切る		ウォータージェットカッター							
	38	地下水・湧水	湧水帯の環境と生き物	タテヤママリモ、カワゴケ、バイカモ							
			揚水ポンプ	揚水ポンプ体験装置							
39	リサーチスポット		サクラマス、イタセンバラ								
40	川	魚		ビーズコースター							
海	41	海辺をさぐる	砂浜	砂浜ジオラマ							
			磯浜	磯浜ジオラマ							
	42	富山湾の貝	富山湾の貝	貝							
	43	海中の植物	海中の植物	ワカメ、ホンダワラ等の海藻、海草							
	44	日本海側で最も深い湾	日本海側で最も深い湾	海底地形図							
			海中の圧力、光、温度	浮沈子							
	45	富山湾のクジラ		ツチクジラ骨格標本							
46	富山湾の表層をさぐる		ブリ、スルメイカ								
		富山湾の深海をさぐる	ベニズワイ、バイ類 ホタルイカ								
47	リサーチスポット	しんきろうと寄り回り波	情報パソコン								
48	エピローグ										
おもしろ実験ひろば	49	進め！リニアモーター									
	50	フレフレ！電気									
	51	磁石で遊ぼう									
	52	水力発電機		笹川発電所の古い発電機							
	53	発電に挑戦！		手回し発電機							
	54	マジックハーブ									
	55	雨つぶダンス									
	56	水のハーブ									
	57	泡と遊ぶ									
	58	アンモナイト									
	59	巨大ザメといっしょに写真をとろう		メガロドン							
	60	まわせ！遠心力									
	61	浮かんでとまるボール									
	62	ふしぎ鏡									
	63	座標の部屋									
64	とやま・ノーベル賞受賞者コーナー										

(2)外部評価

外部評価では、①観覧者滞留調査、②観覧者シールアンケート調査、③観覧者ヒアリング調査の3つの調査を実施し、観覧者の滞留状況、コミュニケーション状況、展示の理解度などを把握し、既存展示の評価を実施する。

①観覧者滞留調査

各エリアに調査員またはカメラを配置し、エリア内の観覧者について目視またはカメラ映像により、滞留時間やコミュニケーション状況を調査し、観覧者の展示観覧状況を把握する。

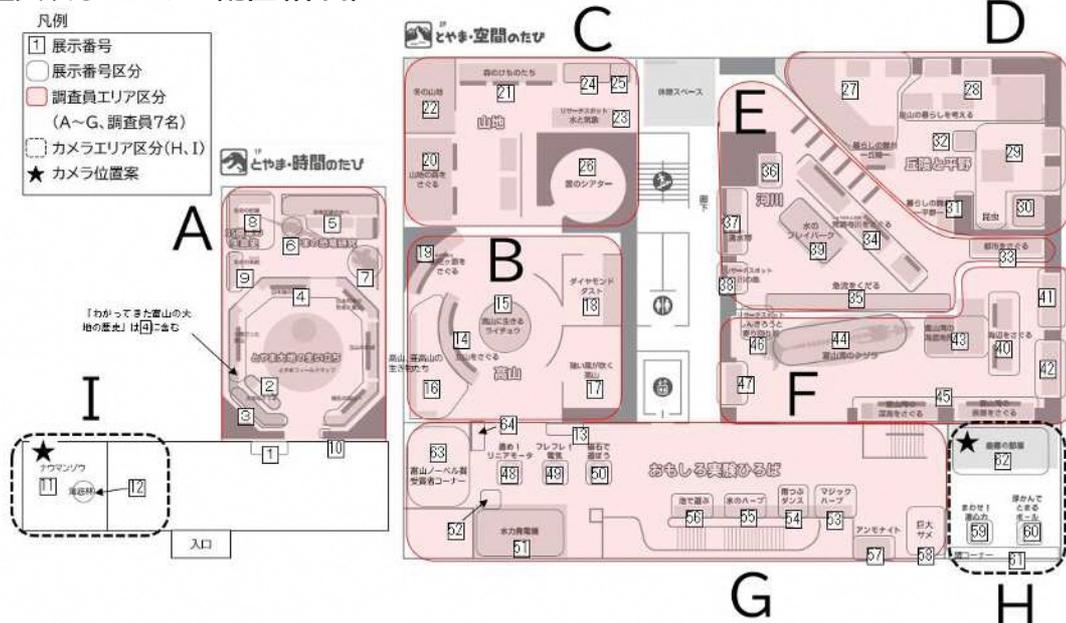
調査概要

項目	内容
対象	・来館者サンプリング 50 組程度とする。 ・各属性 10 組以上とれるように対象観覧者をサンプリング抽出する。
方式	・調査員の目視による記入式 ・カメラ設置による映像確認方式
調査日時	・平日・休日、各1日 【平日】令和 5 年 5 月 17 日(水)9:00~17:00 【休日】令和 5 年 5 月 21 日(日)9:00~17:00
調査項目	1. 時間帯 2. 年齢層・人数 幼児／小学低／小学高／中高生／大人 3. 滞留時間(分:秒) 4. 会話:会話をしているか(言葉を交わしたか) 5. 体験:一緒に体験しているか(展示に触れる、試す、遊ぶ)

調査員及びカメラの配置

実施日時	調査員数	カメラ数	配置
5月17日(水) 9時~17時	2名	1台	調査員:1階1名、2階1名 カメラ: I エリア1台
5月21日(日) 9時~17時	7名	2台	調査員:A~G のエリアに各1名配置 カメラ:H・I エリア各1台

調査員及びカメラの配置(休日)



観覧者滞留調査 調査方法(調査員配付用)

(1)調査概要

- ・本調査は、各エリアに調査員を1名ずつ配置し、エリア内の観覧者を対象として、目視により展示の滞在時間やコミュニケーションの状況について調査するものです。

(2)担当エリア

- ・休日調査員は、**〔別紙〕調査エリア区分**を確認します。
- ・平日調査員は、1階、2階のいずれの配置かを確認します。

(3)調査対象

- ・科学博物館に来館された一般観覧者(グループや個人)が対象です。
- ・全数調査ではなく、サンプリング調査です。
- ・対象となる観覧者が、担当エリアに入ってから出るまでの間で観察調査を実施し、終了次第、次の観覧者の観察調査を開始します。
- ・できるだけ、①幼児、②小学低、③小学高、④中高生、⑤大人を含むグループが、各々のべ10組以上となるように、対象を選んで観察調査を行います。

(4)シートへの記入方法

- ・調査日、記入者、エリア名を記入します。
- ・グループまたは個人を1行に記入します。同時に展示をみている人を1グループとします。
- ・途中でグループが別れて展示をみた場合はどちらかのグループを観察します。
- ・観覧者が展示を通り過ぎた場合は記入せず、立ち止まって1秒以上展示を観覧した場合に記入します。

シート項目	記入方法
上に同じ	2行目以降、同じグループを続けて観察している場合は○をつけます。
時間帯	午後2時の場合「14」と記入します。
展示番号	〔別紙〕調査エリア区分 を参照して、対応番号を記入します。
年齢層	同時に観覧している人の年齢層を○で囲み、各人数を記入します。 年齢層は、推測で記入し観覧者に直接質問はしないでください。 ①幼児(1～6歳) ※1歳未満の乳児は対象外 ②小学低(7～9歳) ③小学高(10～12歳) ※来館が少ないため優先的に調査 ④中高生(13～18歳) ※来館が少ないため優先的に調査 ⑤大人(19歳以上)
滞留時間	・グループの場合は一緒に(同時に)観覧している時間を計測します。 【滞留時間に含むもの】 ・先のグループの観覧が終わる順番を待つ。 ・同じ展示内で同グループの観覧を待つ。 【滞留時間に含まないもの】 ・観覧に関係ないものは含みません。 ・スマホ操作し長時間とどまっている。別展示にいる家族を待つなど。
会話	・同じ展示内で、一緒に会話をしたか(言葉を交わしたか) ・2人以上の場合に記入します。
体験	・同じ展示内で、一緒に体験をしたか(展示に触れる、試す、遊ぶ)
グループ分類	・ <u>各々のべ10組以上</u> となるように、選んだ対象グループを分類し対象グループ選定の目安とします。1グループ1回のみ記入します。 ・同じグループの人が二手などに分かれた場合は記入しません。
特記事項	・長時間とどまる場合の具体的な様子など

NO	時間帯	展示番号	年齢層 (人数)	滞留時間 (分:秒)	会話の有無	体験の有無	グループ分類 ※1組1回のみ記入					特記事項
							幼児	小学低	小学高	中学生	大人	
記入例	14	2	0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低(2)人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人(2)人	2 : 14	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
1			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
14			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
17			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
18			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
20			0.上に同じ/1.幼児()人 / 2.小学低()人 / 3.小学高()人 / 4.中学生()人 / 5.大人()人	:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							グループ数合計					

②観覧者シールアンケート調査

滞留調査で観覧時間やコミュニケーションが少ない展示を中心に、各展示前においてシールアンケートを実施し、展示意図の理解状況を把握し、学習効果の有無を確認する。なお、対象とする展示や具体的な調査方法は、滞留調査結果を受け精査を行う。

調査内容

項目	内容
対象	・来館者全員
方式	・シールによる質問回答方式
調査日	・令和5年6月上旬予定 休日 9:00~17:00
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・回答エリア(A~G)ごとに2~3つの質問を設定し、調査時間帯を区切って、各エリアでシールアンケートを実施する。 ・回答エリアには調査員が常駐し、観覧者にシールを手渡しの上、回答をサポートする。 ・シールは1人に必要シール数を配布し属性別に色を変える。 子ども(幼児・小学生・中学生) シール青色 大人(高校生以上) シール赤色 ・1~2つの回答エリア(2時間)×4回程度を想定する。 ・質問例:大陸の一部であることがわかりましたか? 回答例:はい/いいえ のいずれかにシールをはる。 ※具体的な調査方法は滞留調査の結果を受け精査する。
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧者が展示意図の理解を確認する質問を設定 ・7エリア×2~3つの質問、合計20問程度

調査タイムテーブルの例

設置時間	回答エリア	質問数
9~11時	A	2~3
11~13時	B・C	4~6
13~15時	D・E	4~6
15~17時	F・G	4~6

- ・1つのエリアに2~3つの★回答ボードを設置
- ・来館者は質問にシールで回答する
 質問例:大陸の一部であることがわかりましたか?
 回答例:はい/いいえ のいずれかにシールをはる



観覧者シールアンケート調査イメージ

③観覧者ヒアリング調査

シールアンケート調査で、展示意図の理解や学習効果が不足した展示について、具体的な課題を把握するため、調査にご協力いただける観覧者にヒアリング調査を実施する。今後ほしい展示、天体観察機能についても具体的な内容を把握する。

調査内容

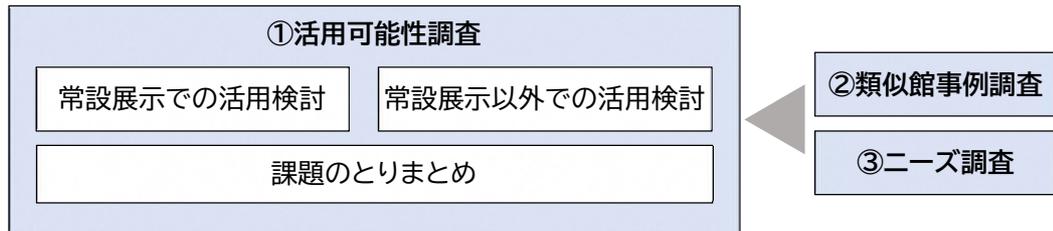
項目	内容
対象	・来館者で調査当日ご協力いただける方 30組程度 ※サンプルが少ない場合、友の会等にご協力いただく。
方式	・ヒアリング調査
調査日	・令和5年6月下旬予定(休日1日程度)
調査方法	・具体的な展示を見ながら展示の問題点についてヒアリングを行う。 ・ヒアリングを実施する具体的な展示は、滞留調査及びシールアンケート調査で展示エリアを抽出する。
調査項目例	①ご自身や科学博物館の利用について ・性別・年代・お住まい・交通 ・来館頻度 ・同伴者(孫や子ども) ②具体的な展示について(取り上げるエリアすべて) 【エリアについて】 ・他のエリアと比べどのように感じているか(評価) 【個々の展示について】 ・展示意図が伝わっているか ・伝わらない理由について ③今後ほしい展示、天体観察機能等 ・今後ほしい展示について意見をうかがう。 ・今後ほしい天体観察機能について意見をうかがう。

2 収藏品調査

当館は、富山の自然に関する理解を深めるために幅広く資料を収集しており、標本の点数は50万点を越える。標本は、学芸員による採取、研究者などからの寄贈、購入したものである。

学術研究、展示、普及教育等に標本を活用しているが、あらためて常設展示での活用を念頭において収藏品の状況について調査を実施するとともに、収藏品の活用事例や活用ニーズについて把握し、新展示案の検討に活かす。

収藏品調査イメージ



収藏品調査項目

項目	内容
①活用可能性調査	分野ごとに収藏品の状況を調査し、常設展示に適する収藏品や、常設する場合の課題等を取りまとめる。
②類似館事例調査	類似館における収藏品の活用について事例を収集する。(→類似館調査で対応)
③ニーズ調査	収藏品の画像公開のほか、収藏品の活用ニーズについて調査を行う。(→教育関係団体へのヒアリング調査で対応)

分野別の収藏品点数及びコレクション(令和4年度末時点)

分野	点数	標本形態あるいは主な物	まとまったコレクション
岩石	15,822	岩石、鉱物	飛騨帯の岩石
古生物	24,255	化石	貝化石、恐竜足跡化石レプリカ
植物	127,471	押し葉標本、乾燥標本	富山の植物
昆虫	119,536	乾燥標本	蝶、トンボ
無脊椎動物	176,719	液浸標本、乾燥標本	貝
脊椎動物	48,973	液浸標本、剥製	淡水魚・両生類の液浸標本、鳥の仮剥製
物理	118	計算機、秤等	
化学	482	金属等	
天文	55	隕石等	
計	513,431		

3 県内の天文関連施設調査

本計画における天体観察機能については、科学博物館の展示内容全般の方向性や令和5年3月にリニューアルしたプラネタリウムとの連携、更には将来市民の負担などを考慮し、そのあり方を定めることとしている。

本調査においては、県内の天文に関連する施設を対象として、連携の可能性について調査し、天体観察機能のあり方を検討する上での基礎資料とする。

調査概要

項目	内容
対象	・県内の天体観望会を実施する施設 ① 天湖森(当館より 19km) ② 富山市子どもの村(当館より 25km) ③ 国立立山青少年自然の家(当館より 27km) ④ 黒部市吉田科学館(当館より 49km)
方式	・現地ヒアリング調査 (30～60 分程度)
調査時期	・4～6月
調査項目	① 施設概要、利用状況 ② 天体望遠鏡ほか使用機器 ③ 観望会の開催状況 ④ 施設連携の可能性 現地体験／電子観望／ライブ映像配信ほか ⑤ その他
結果とりまとめ	・施設連携の整理 ・メリット、デメリットの整理 (費用面、学習面などの効果、施設連携の課題とりまとめ)

4 類似館調査

本調査では、当館と類似する博物館及び科学館を対象に、展示更新の方法、事例等について調査を実施し、本展示更新計画の参考とする。

調査概要

項目	内容
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・類似博物館及び科学館 20 施設程度 <p>【展示更新について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然・科学の展示があり、近年展示更新をした、または更新中の館 <p>【天文分野の事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然・科学の展示、プラネタリウムや天体望遠鏡がある館
方式	<ul style="list-style-type: none"> ・郵送配付による調査票記入
配付	<p>【時 期】令和 5 年 6 月上旬</p> <p>【方 式】郵送</p> <p>【発送元】科学博物館館長名(依頼文押印付き)</p>
回収	<p>【時 期】配付より2週間後</p> <p>【方 式】返信用封筒、メール</p> <p>【返送先】科学博物館学芸課</p>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設に「依頼文」「記入シート」を郵送する。 ・同封した返信用封用により「記入シート」を返送いただく。 ・希望者には、記入用のデータファイルを送付する。
調査項目	<p>【展示更新について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①展示のコンセプト ②展示更新の進め方 ③全面リニューアル(分割) ④部分リニューアル ⑤ねらいが成功した展示、伝わらなかった展示 ⑥展示の活用 ⑦収蔵品の活用 ⑧学校との連携 <p>【天文分野の事業について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コンセプト ②天体観察設備 ③固定型望遠鏡の導入理由 ④天体観察設備の連携 ⑤他所の天体観察施設との連携

類似館調査対象施設(案)

NO	所在 都道府県	名称	送付調査シート	
			展示更新	天文
1	北海道	札幌市青少年科学館	●	●
2	北海道	旭川市科学館		●
3	茨城県	日立シビックセンター科学館	●	
4	埼玉県	川口市立科学館		●
5	千葉県	千葉市科学館	●	●
6	東京都	葛飾区郷土と天文の博物館		●
7	神奈川県	相模原市立博物館		●
8	静岡県	静岡科学館 る・く・る	●	
9	静岡県	ディスカバリーパーク焼津天文科学館		●
10	愛知県	豊橋市自然史博物館	●	
11	愛知県	名古屋市科学館	●	●
12	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	●	
13	大阪府	大阪市立科学館	●	●
14	兵庫県	バンドー神戸青少年科学館		●
15	岡山県	倉敷科学センター		●
16	福岡県	北九州市立自然史・歴史博物館	●	
17	佐賀県	佐賀県立宇宙科学館		●
18	長崎県	長崎市科学館		●
合計			9	13

令和5年6月 日

展示更新等についての調査ご協力のお願い

富山市科学博物館
館長 水高 清志

向暑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、富山市科学博物館の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当館では展示更新や天体観察機能のあり方について検討しており、当館と類似する全国の科学館・博物館の皆様から、展示更新の手法、効果的な展示、天文分野の事業等について学ばせて頂き、今後の展示更新等に役立ててまいりたいと考えております。

つきましては、展示更新や天文分野の事業について、その考え方や方法等をお伺いする調査シートへのご記入をお願い申し上げます。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

■ご記入に当たってのお願い■

- 1 ご記入は、近年実施された展示更新や天文分野の事業についてご存知の方がご記入ください。
- 2 記入シートは、「展示更新についての調査記入シート」または「天文分野の事業についての調査記入シート」、もしくは両方が入っています。
- 3 電子ファイルへの記入をご希望の方は、大変お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

■ご返送方法■

ご記入が済みましたら、お手数をおかけしますが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、6月〇日(〇)まで郵便ポストへご投函ください。

電子ファイルへご記入の場合は、下記メールアドレスへ送信をお願いいたします。

問合せ先 富山市科学博物館学芸課 担当 学芸課 坂井・増淵

TEL:076-491-2125

E-mail:gakugei-02@tsm.toyama.toyama.jp

展示更新に関する調査シート（案）

◎記述の設問にはご回答いただける範囲で具体的にご記入いただき、選択する設問には○を付けてください。（記入用のデータファイルを希望される場合はご連絡ください。）

問1 貴館名・ご担当者について

貴館名	
ご担当者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

問2 貴館における展示コンセプトについて

基本コンセプト、展示構成の考え方等をご記入ください。

コンセプト	
展示構成の考え方	

問3 展示更新の進め方について

直近の展示更新についてご記入ください。更新途中の場合は、予定をご記入ください。

※展示更新事業について記載されている資料をご提供いただけるようであれば、問3のご記入は不要です。その際は、資料の添付をお願いいたします。

①展示更新事業

実施事業	実施年度	入札方式	事業費
基本構想	年度	一般競争・指名競争・随意契約 企画競争・その他（ ）	千円
基本計画	年度	一般競争・指名競争・随意契約 企画競争・その他（ ）	千円
基本・実施設計	年度	一般競争・指名競争・随意契約 企画競争・その他（ ）	千円
施工・改修工事	年度	一般競争・指名競争・随意契約 企画競争・その他（ ）	千円

②展示更新手法

1. 一括全面リニューアル（閉館して全面を一括リニューアル）	⇒問6へ進む
2. 分割全面リニューアル（部分的に閉鎖をしながら全面リニューアル）	⇒問4へ進む
3. 部分リニューアル	⇒問5へ進む
4. その他（ ）	⇒問6へ進む

問4 分割全面リニューアルで展示更新を行った館にお伺いします。

(1) 分割して全面リニューアルを行った(今後行う)理由をお聞かせください。(当てはまる番号全てに○を付けてください)

- | |
|---|
| 1. 展示面積が広い
2. 学芸員の仕事量軽減のため
3. 費用を分割するため
4. その他 () |
|---|

(2) 施工・改修工事を先行して行う展示・エリアを決定するために、優先したことをお聞かせください。(1つだけ○を付けてください)

- | | | |
|-----------|------------|-------|
| 1. 老朽化の程度 | 2. 人気の程度 | 3. 動線 |
| 4. 予算 | 5. その他 () | |

(3) 分割して施工・改修工事をを行った面積割合をご記入ください。

記入例：第1期は4割、第2期は2割、第3期は4割

(4) リニューアル中の、休館や部分閉鎖の方法についてお聞かせください。(1つだけ○を付けてください)

- | |
|---|
| 1. 休館した。 |
| 2. 代わりに展示やサービスを提供したうえで部分閉鎖した。
(内容：) |
| 3. 代わりに展示やサービスは行わずに部分閉鎖した。 |
| 4. その他 () |

(5) 分割による全面リニューアルのメリットやデメリットについて、更新後の展示保守も含めてご記入ください。

【メリット】

【デメリット】

⇒問6へお進みください。

問5 部分リニューアルで展示更新を行った館にお伺いします。

(1) 部分リニューアルで展示更新を行った(今後行う)理由をお聞かせください。(当てはまる番号全てに○を付けてください)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 全面リニューアルの必要性がない | |
| 2. 予算の都合 | |
| 3. その他 () | |

(2) 部分リニューアルで更新を行う展示物を決定するために、優先したことをお聞かせください。(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 老朽化の程度 | 2. 人気の程度 |
| 3. メンテナンスの頻度 | 4. その他 () |

(3) 貴館における展示室の全面積と展示更新した面積、もしくはおよその面積割合をご記入ください。

- | |
|--|
| ・展示室の全面積 () m ² |
| ・展示更新した新展示面積 () m ² 、全面積のおよそ () 割 |

(4) リニューアル中の、休館や部分閉鎖の方法についてお聞かせください。(1つだけ○を付けてください)

- | | |
|---|--|
| 1. 休館した。 | |
| 2. 代わりの展示やサービスを提供したうえで部分閉鎖した。
(内容:) | |
| 3. 代わりの展示やサービスは行わずに部分閉鎖した。 | |
| 4. その他 () | |

(5) 部分リニューアルのメリットやデメリットについて、更新後の展示保守も含めてご記入ください。

【メリット】

【デメリット】

天文分野の事業に関する調査シート（案）

◎記述の設問にはご回答いただける範囲で具体的にご記入いただき、選択する設問には○を付けてください。（記入用のデータファイルを希望される場合はご連絡ください。）

問1 貴館名・ご担当者について

貴館名	
ご担当者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

問2 貴館における天文分野のコンセプトについて

下記のそれぞれのコンセプト（位置づけ）等をご記入ください。

プラネタリウム	
天体観察設備	

問3 天体観察設備について

（1）設備の有無に○を付けて、設備がある場合は活用用途・連携についてご記入ください。

設備	活用用途・連携
「移動式小型望遠鏡」が 1. ある _____ 2. ない	1. 夜の観望会(天体の例: _____) 2. 日中の観望会(天体の例: _____) 3. 電子観望 4. 展示 5. ライブ映像配信 6. 現象の記録 7. 研究 8. その他 (_____)

設備	活用用途・連携
「固定型望遠鏡」が 1. ある _____ 2. ない	1. 夜の観望会(天体の例: _____) 2. 日中の観望会(天体の例: _____) 3. 電子観望 4. 展示 5. ライブ映像配信 6. 現象の記録 7. 研究 8. その他 (_____)

固定型望遠鏡があると回答した館にお伺いします。

(2) 固定型望遠鏡を導入した理由をご記入ください。

問4 天体観察設備の連携

天体観察設備と展示やプラネタリウムとの連携・活用方法についてお聞かせください。(当てはまる番号すべてに○を付けてください)

1. 展示室での、日中の太陽のライブ映像の上映
 2. 展示室での、日中の星のライブ映像の上映
 3. プラネタリウムでの、望遠鏡で撮影した映像のライブでの投映(夜)
 4. 撮影した画像や映像の、展示やプラネタリウムで活用
 5. プラネタリウムを使って星空観望の予習をしてもらい、屋外で観望
 6. その他 ()

問5 他所の天体観察施設との連携

他所の天体観察施設との連携があればご記入ください。また、連携をする上での問題点があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
6月0日までに提出をお願いいたします。

5 関係団体への二一ズ調査

富山県内の関係団体を対象に、利用目的や満足度、科学博物館に求めるものなどを把握する二一ズ調査を実施し、本展示更新計画に活かす。

調査概要

項目	内容
対象	・関係団体 50 団体程度
方式	・郵送配付による選択回答 ・WEB回答併用
配付	【時 期】 令和 5 年 6 月上旬 【方 式】 郵送 【発送元】 科学博物館館長名(依頼文押印付き)
回収	【時 期】 配付より3週間後 【方 式】 返信用封筒、WEB、FAX、メール 【返送先】 いずれも調査委託会社
調査方法	・対象団体に対し郵送により「依頼文」「傘下団体向け依頼文」「調査票」を送付する。 ・「依頼文」は、対象団体及び傘下団体に広く回答いただけるよう、WEB回答用のQRコードを貼付する。 ・「調査票」は、傘下団体への配付用も含め5部送付する。 ・返送は、同封した返信用封筒ほか、FAX やメールでも受け付ける。
調査項目	①貴団体について ②科学博物館の利用について ③来館目的と満足度 ④利用しなかった理由 ⑤科学博物館にあったらよいもの ⑥自由記入

ニーズ調査対象団体(案)

団体名称	団体数	備考
小中学校関係		
市町村教育委員会学校教育担当課	15	
富山県小教研理科部会	1	
富山市小教研理科部会	1	別途ヒアリング予定
富山県中教研理科部会	1	
富山市中教研理科部会	1	別途ヒアリング予定
高等学校・特別支援学校関係		
県教委県立学校課(特別支援学校担当課)	1	
富山県総合教育センター科学情報部	1	別途ヒアリング予定
富山県理化学会	1	別途ヒアリング予定
富山県生物研究会	1	
富山県高等学校教育研究会	1	
富山県高等学校理科教育研究会	1	
未就学児・児童クラブ		
富山市こども保育課	1	
富山県保育士会	1	
富山県私立幼稚園・認定こども園協会	1	
富山市児童クラブ連絡協議会	1	
富山県児童クラブ連合会	1	
社会教育関係		
富山県公民館連合会	1	
富山県レクリエーション協会	1	
富山県発明協会	1	
富山県天文学会	1	
富山県生物学会	1	
富山地学会	1	
PTA関係		
富山県PTA連合会	1	
富山市PTA連絡協議会	1	
観光関係		
富山県観光連盟	1	
富山市観光協会	1	
富山県ホテル旅館生活衛生同業組合	1	
富山市ホテル旅館事業協同組合	1	
交通事業者		
JR西日本金沢支社(富山)	1	
あいの風とやま鉄道	1	
富山地方鉄道	1	
商工会議所		
富山県商工会議所連合会	1	
富山商工会議所	1	
住民組織		
富山県自治会連合会	1	
富山市自治振興連絡協議会(教育委員会担当)	1	
障害者・障害児		
富山県身体障害者福祉協会	1	
富山県精神保健福祉協会	1	
富山県発達障害者支援センター	1	
老人クラブ		
富山県老人クラブ連合会	1	
富山市老人クラブ連合会	1	
合計	54	

令和5年6月 日

富山市科学博物館 アンケート調査ご協力のお願い

富山市科学博物館
館長 水高 清志

向暑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より富山市科学博物館をご利用くださいまして、誠にありがとうございます。
このたび、科学博物館をご利用いただくお客様の満足度向上のため、団体の代表者様を対象にアンケート調査を実施いたします。
この調査は、団体の皆様に当館の満足度やご要望をお伺いするものです。
調査結果は、より楽しく学べる博物館になるよう、展示の更新計画に役立ててまいります。
ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

■回答に当たってのお願い■

ご回答は、お送りした封筒の団体代表者様（1名）がご記入ください。

■傘下団体様への調査協力依頼のお願い■ ※傘下団体様がおられる場合のみ

より多くの皆様の声を反映するため、傘下団体代表者様による記入をお願い致します。

傘下団体様が参加される会議やメーリングリストにてアンケート調査へのご協力を依頼いただきたくお願い申し上げます。

- ・ご依頼にあたり 別紙：アンケート調査ご協力のお願い（配付用）をご活用ください。
- ・本資料及びアンケート依頼用の電子データをご希望の場合はご連絡ください。

E-mail：〇〇〇@shinnihon-cst.co.jp 新日本コンサルタント馬場宛

〈〈 本アンケートはインターネットでも回答できます 〉〉
右の QR コードから回答フォームにアクセスしてください。
回答の際は右のパスコードが必要です。



■ご返送方法■

以下のいずれかの方法で 6月〇日（〇）までに返送ください。

- 1 同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函ください。
- 2 FAX にて送信ください。FAX：076-464-6691
- 3 メールで送信ください。〇〇〇@shinnihon-cst.co.jp

新日本コンサルタント
馬場宛

注) インターネットで回答された場合には、アンケート用紙の返送は不要です。

問合せ先

[アンケートについて] **調査委託会社（株）新日本コンサルタント 馬場・石倉**

TEL:076-464-6947 FAX: 076-464-6691 E-mail: 〇〇〇@shinnihon-cst.co.jp

[展示更新について] **富山市科学博物館学芸課 坂井・増淵**

TEL:076-491-2125 E-mail:gakugei-02@tsm.toyama.toyama.jp

※団体様から傘下団体様への配付用です

富山市科学博物館 アンケート調査ご協力をお願い（配付用）

富山市科学博物館
館長 水高 清志

向暑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より富山市科学博物館をご利用くださいますて、誠にありがとうございます。
このたび、科学博物館をご利用いただくお客様の満足度向上のため、団体に所属する皆様を対象にアンケート調査を実施いたします。
この調査は、団体の皆様に当館の満足度やご要望をお伺いするものです。
調査結果は、より楽しく学べる博物館になるよう、展示の更新計画に役立ててまいります。
ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。

■回答に当たってのお願い■

ご回答は、アンケートを受け取った**団体の代表者様（1名）**がご記入ください。
所属団体様により、アンケートは①紙媒体、②PDF データ、③インターネット回答（QR コード）の場合があります。

■ご返送方法■

以下のいずれかの方法で **6月〇日（〇）** までに返送ください。所属団体様より指定がある場合は、その方法でご返送ください。

- 1 依頼を受けた所属団体様へお渡しください。
 - 2 FAX にて送信ください。FAX：076-464-6691
 - 3 メールにて送信ください。〇〇〇@shinnihon-cst.co.jp
- 新日本コンサルタント
馬場宛

〈〈 本アンケートはインターネットでも回答できます 〉〉

右の QR コードから回答フォームにアクセスしてください。

回答の際は右のパスコードが必要です。

注) インターネットで回答された場合には、アンケート用紙の返送は不要です。



問合せ先

[アンケートについて] 調査委託会社（株）新日本コンサルタント 馬場・石倉

TEL:076-464-6947 FAX: 076-464-6691 E-mail: 〇〇〇@shinnihon-cst.co.jp

[展示更新について] 富山市科学博物館学芸課 坂井・増渕

TEL:076-491-2125 E-mail:gakugei-02@tsm.toyama.toyama.jp

富山市科学博物館に関するアンケート調査（案）

◎貴団体及び傘下の団体の立場でご回答ください。

問1 貴団体についてご記入ください。

貴団体名						
団体種別 (1つだけ○を付けてください)	1. 幼児教育	2. 初等・中等教育	3. 高等教育			
	4. 社会教育	5. P T A	6. 児童クラブ			
	7. 観光関係	8. 商工会	9. 自治振興会			
	10. 福祉協会	11. 老人クラブ	12. その他 ()			
ご記入者氏名						
所属部署			役職			
電話番号						
メールアドレス						

問2 富山市科学博物館を利用したことはありますか。(1つだけ○を付けてください)

1. ある ⇒ <u>問3へお進みください</u> 2. ない ⇒ <u>問5へお進みください</u>
--

問2で「ある」と回答した方にお伺いします。

問3 利用(来館)された目的を教えてください。(当てはまる番号全てに○を付けてください)

1. 科学にふれるため 2. 富山の自然を学ぶため 3. プラネタリウムで星や映像を見るため 4. 観光のため 5. その他 ()
--

問4 展示物等における次の項目について、満足度をお聞かせください。(項目ごとに1つずつ○をつけてください。追加したい項目があれば、「6 その他」に具体的にご記入ください)

項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	利用していない
1. 体験・実験装置	1	2	3	4	5	6
2. 富山の大地の歴史、化石の展示	1	2	3	4	5	6
3. 富山の自然環境、生き物の展示	1	2	3	4	5	6
4. プラネタリウムでの星や宇宙の解説	1	2	3	4	5	6
5. プラネタリウムでの映像番組	1	2	3	4	5	6
6. その他 ()	1	2	3	4	5	6

問2で「ない」と回答した方にお伺いします。

問5 富山市科学博物館を利用していない理由をお聞かせください。(もっともよく当てはまる番号1つに○を付けてください)

1. これまで機会がなかった。
2. 富山市科学博物館に魅力を感じない。
3. 富山市科学博物館を知らなかった。
4. 交通の便など利用条件に合わず利用しづらい。
5. その他 ()

問6 富山市科学博物館の展示等に望むことをお聞かせください。(分類にこだわらず10個まで選んで○を付けてください)

《学びのきっかけづくり》

1. 自分と自然のつながりに気づく展示
2. 自然現象の仕組みや原因を探る展示
3. 富山の自然や、科学への興味が高まる展示
4. 主体的・対話的に学べる展示
5. 五感を使って体験できる展示
6. 標本等の実物や模型を観察する展示
7. 学芸員の解説が聞ける展示
8. 大型映像による迫力ある映像体験ができる展示

《時代の潮流への対応》

9. 自然環境の変化を学ぶ展示 (例：生物多様性の喪失等)
10. 地球規模の問題を考える展示 (例：地球温暖化等)
11. 再生可能エネルギーについて学ぶ展示
12. デジタル技術を使った展示
13. 未公開の収蔵品を画像で見る展示

《連携による地域人材の育成・地域貢献》

14. 富山の自然や科学技術を広く知る生涯学習の場
15. 最新技術をもつ大学や地元企業との交流・連携
16. 学校教育、家庭学習との連携
17. 観光・商業・文化施設との交流・連携
18. その他 ()

問7 富山市科学博物館の天文学習に求める機能等について、重要と思われるものをお聞かせください。(5つまで選んで○を付けてください)

1. プラネタリウムにおける、解説員による生解説番組の強化
2. プラネタリウムにおける、学習指導要領に沿った学習番組の強化
3. 気軽に楽しめる夜の星空観察会
4. 日中の通常開館時間帯での、太陽や星などの観察体験機会の提供
5. 日中に展示室等での太陽や星などのライブ映像の上映
6. 星空のライブ中継など他所の望遠鏡と連携した夜のイベントの実施
7. 大学や企業と連携した天文の最新情報の提供
8. 観光・商業・文化施設との交流・連携
9. その他 ()

問8 富山市科学博物館に関するご意見・ご提案など、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
6月0日までに提出をお願いいたします。